

生薬解説 219 せー14

音順	生薬名	中医の性味・帰経	中医の用量
中医学生薬解説、参考・使用上の注意		および中医学以外の生薬解説・生薬学解説	
せー14	せっかい 石灰	辛・温・有毒 未詳	適量を外用する。
中医生薬解説			
石灰岩を加熱して焼成したもの			
解毒療傷 熱傷に、風化石灰の溶液に麻油を加えて乳状にして塗布する。			
止血 外傷の出血に、生大黃と炒して用いる「桃花散」。			
その他 腐蝕作用をもつので、疣贅（イボ）、痣（アザ）などに生石灰を糊状に調製し外用する。			
参考 石灰丸を煅焼した塊状物が生石灰で、水分を再吸収して得た粉状物が熟石灰（風化石灰）である。			
生石灰は腐蝕に、熟石灰は療傷、止血に働く。			
使用上の注意 内服には用いない。			